

令和元年度 はだのふるさと寄附金充当事業

1 表丹沢魅力づくり推進事業

(1) 事業目的

「新東名高速道路の全線開通」を最大限に生かすため、表丹沢に展開する様々な取組みを推進することにより、表丹沢全体の魅力向上を図るとともに、本市への新たな人の流れを捉え、交流人口や関係人口の創出等につながる構想を策定します。

また、新東名高速道路の整備効果をさらに高めるため、渋沢丘陵を中心とした広域的な土地利用方針の策定に取り組みます。

(2) 事業概要

「新東名高速道路の全線開通」という絶好の機会を最大活用する取組の一つとして、東側のヤビツ峠周辺から西側の秦野インターチェンジ（仮称）周辺までの表丹沢一帯にある様々な分野の資源を最大限に生かすことで、地域活性化につながる構想の策定を進めました。

また、日本たばこ産業株式会社（以下「JT」という。）所有地及び対面市有地を対象地として、JTが所有地を処分する場合に、本市としての対応方針を迅速かつ的確に決定する際の参考とするための報告書をまとめました。

さらに、渋沢丘陵における現状把握調査などを行い、今後の新たな土地利用方針策定に向けた課題整理や土地利用の可能性検討などを報告書にまとめました。

(3) 寄附金充当額

（みどり・里山の保全又は創造に関する事業）

6,941,000円



2 スマートライブラリー用参考書購入事業

(1) 事業目的

青少年育成施設であるはだのこども館の学習環境を整えるため、館内図書室に配架する参考書を購入します。

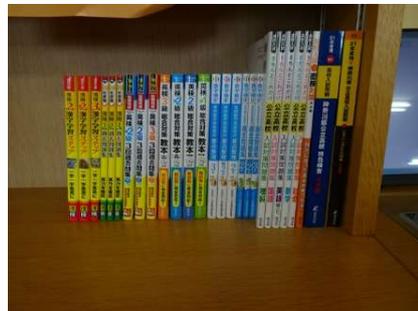
(2) 事業概要

公立高校入試、数学検定、英語検定、漢字検定等の貸出し用参考書を充実させ、受験生をサポートしました。

(3) 寄附金の使途及び充当額

(教育の充実に関する事業)

30,000 円



3 産業利用促進ゾーン水源調査ボーリング事業

(1) 事業目的

「はだの水循環モデル」の精度の向上と現在活用されていない吉沢ローム層より深い位置にある第2帯水層における揚水可能性を探るため、水源調査ボーリングを実施します。

(2) 事業概要

地下 170m まで掘削して土質サンプルを採取し、土質観察や電気検層の結果などから地質構造を推定したほか、揚水試験を経て適正揚水流量を検討しました。また、水道法に定められる水質基準 51 項目の水質分析なども実施しました。

ボーリング調査実施後は、地下水位観測孔として整備し、地下水保全を担う施設として活用しています。

(3) 寄附金充当額

(地下水・湧水の保全に関する事業)

24,602,600 円



4 森林セラピー推進事業

(1) 事業目的

本市の有する豊かな森林、里地里山、峡谷、湧水、温泉、多様性に富んだ動植物及び農林産物等、自然の地形や恵みを総合的に活用し、市民の生活習慣病予防及び健康増進に役立て、都市と森林の地域交流を推進し、新たな森林、観光、医療の連携を通じた地域振興を図ることを目的に森林セラピー事業に取り組むものです。



(2) 事業概要

森林セラピー基地及び森林セラピーロードを整備し、事業を実施することにより、地域の環境を活かした健康づくりや生きがいの場が創出されるとともに、都市住民や企業等の観光、心と身体の健康づくりの場としての利用の推進が図られました。



ア 森林セラピー基地及び森林セラピーロードの認定

平成 31 年 4 月 15 日 認定申請一次審査通過

令和 2 年 3 月 3 日 森林セラピーフィールドの
生理・心理実験

イ 森林セラピーガイド等が案内するイベント

(ア) 表丹沢野外活動センター・葛葉の泉コース 3 回

参加人数 延べ 63 人

(イ) 蓑毛・春嶽湧水コース 3 回

参加人数 延べ 57 人

(ウ) 弘法山公園コース 1 回 参加人数 27 人



(3) 寄附金充当額

(地下水・湧水の保全に関する事業)

829,790 円

5 商業活性化事業

(1) 事業目的

ア 鶴巻温泉駅周辺販売促進事業

大山～鶴巻温泉バス事業に合わせて、鶴巻温泉駅周辺で商店街等が誘客効果を高ために実施する販売促進イベントに対して支援します。

イ ハダ恋にぎわい商店街事業

インターネット上で秦野市の商店街情報等を掲載する「秦野にぎわい商店街」を運営し、「商人魂お役立て講座」の通年開催情報や「ハダ恋“みっけもんの旅”ツアー」に関する情報、また、本市及び商店街が実施する各種イベント情報を積極的に発信することにより、シティプロモーション及び商業の活性化に努めます。高齢者の健康増進や介護予防を目的とする事業を実施しました。

(2) 事業概要

ア 鶴巻温泉駅のロータリーで秦野市商店街連合会が実施した「にぎわい市」に補助を行いました。イベントを通して市民に商店街及び個店を知ってもらう機会となり、また、商店街のエリア内外から人が集まりにぎわいの創造につながりました。

イ WEBサイト閲覧数が 69,451pv になるなど、市内外の多くの人々がサイトを訪れて、シティプロモーション及び商業の活性化に努めることができました。

(3) 寄附金充当額

(秦野市のため)

1,475,800 円



6 商店街店舗魅力アップ事業

(1) 事業目的

市内の商店街に加盟する店舗等において、内外装等のリフォームや老朽化した営業用設備の更新費用の一部について補助することにより、商業者の経営意欲の喚起及び円滑な事業承継の促進を図り、商店街の活性化に努めます。

(2) 事業概要

10店舗に対して支援を行い、魅力ある店舗づくりにつなげることができました。

また、店舗における来客数の増加など、消費者の購買意欲の高揚につながるとともに商業者の経営意欲の向上を図ることができました。

(3) 寄附金充当額

(秦野市のため)

5,303,000円



7 商業みらいづくり事業

(1) 事業目的

市内在住の消費者の購買行動を把握するため消費者購買行動実態調査を行います。また、市内商業の現状を把握するため商業実態調査を行います。

(2) 事業概要

消費者購買行動（買物行動）実態調査の結果、市内在住の消費者の購買行動や商店街に対する意識やニーズについて把握することができました。

また、商業実態調査の結果、市内商業の現状や課題について把握することができました。

(3) 寄附金充当額

(秦野市のため)

5,303,000円



8 工業みらいづくり事業

(1) 事業目的

市内産業用地への企業立地に係る経済波及効果を把握するため、産業利用促進ゾーン等企業立地に係る経済波及効果調査を行います。

また市内工業の現状や課題を把握するため、工業実態調査を行います。

(2) 事業概要

産業利用促進ゾーン等企業立地に係る経済波及効果調査の結果、企業の立地に伴う、効果額や雇用誘発数等を把握することができました。

また、工業実態調査の結果、市内工業の現状や課題について把握することができました。

(3) 寄附金充当額

(秦野市のため)

4,921,917円



9 鶴巻温泉駅周辺活性化事業

(1) 事業目的

新たな源泉による鶴巻温泉駅周辺の観光振興と地域の活性化を図ることを目的とします。

平成26年度には手湯を設置するとともに民間旅館に配湯し、平成27年度には足湯を設置したことから、持続的な新源泉の活用、維持管理をするとともに、バス季節運行などを契機として、まちのにぎわいを創出します。

(2) 事業概要

平成29、30年度に地方創生推進交付金を受けた地域再生計画事業で、大山ケーブル⇒鶴巻温泉北口間で民間バス会社による実証運行を行いました。

このバス季節運行を契機として、地元の商業者、温泉組合や自治会などを中心とした組織が、駅前広場で出店するなどして受入体制を作り、一体となって鶴巻温泉地域をPRしました。

また、鶴巻散策マップをリニューアルして「弘法山麓鶴巻まちめぐりガイド」を作成し、多くの来訪者に鶴巻温泉を散策してもらうことを目的に、ハイキングコースを紹介し、弘法山を中心とした地域の活性化を図りました。

(3) 寄附金充当額

(観光の振興に関する事業)

9,197,990円



10 ヤビツ峠周辺観光事業

(1) 事業目的

登山者やサイクリストなど多くの観光客が訪れるヤビツ峠に、観光拠点施設として「ヤビツレストハウス（仮称）」を整備し、森林・里地里山・観光の連携事業を展開することで、交流人口の増加と市内消費を生み出し、地域所得の向上や観光振興、アウトドア活動グリーンツーリズムが盛んな地域イメージの確立を図ることを目的としています。

(2) 事業概要

本事業は、地方創生推進交付金の交付対象事業である「ヤビツ峠周辺観光拠点施設を核とした「森・里・観」連携事業の推進と地域ブランドの確立」を推進するため、平成30年度から3ヵ年計画で事業に取り組むものです。

令和元年度は、平成30年度に公募型プロポーザル形式により決定した委託業者に、令和2年度に整備する観光拠点施設の実施設設計のほか、そこで販売することを目的とした地域特産物及び特色ある飲食等の商品開発及び体験プログラム開発の支援などを委託しました。

また、商品開発、体験プログラム及び観光拠点施設整備内容などの検討をするに当たり、学識経験者や地元団体及び関係事業者から幅広く意見をいただくため、ヤビツ峠周辺活性化推進協議会を2回開催しました。

(3) 寄附金充当額

(観光の振興に関する事業)

3,338,000円



11 大倉高原周辺観光振興事業

(1) 事業目的

本市が誇る丹沢の自然環境やおいしい水、観光農園、農産物、温泉などの地域資源を活用した、多様なニーズに対応する各種体験型観光コンテンツを創出・育成し、その「体験を巡るための仕掛けと仕組みづくり」を行うことにより、周遊観光を促進し地域経済の活性化を図るため、スローライフ体験事業について、総合的な観点から協議します。

また、本市を来訪し、アウトドア体験（登山、ハイキング、川遊び、キャンプ、バーベキューなど）を行ったことがある人をターゲットにWebアンケート調査を行い、本市が取り組んでいく観光振興策及び表丹沢（大倉高原山の家）の活用、効果的な誘客方策の検討へとつなげます。

(2) 事業概要

Webアンケート調査を実施したことにより、登山者のリピーターが多いことや新たに体験したい活動（森林セラピー、キャンプ、沢登り）等が分かり、協議会において、具体的な話し合いを行うことができました。

また、アンケート結果については、貴重なデータとして、令和2年度に改定する秦野市観光振興基本計画にも活用したいと考えています。

(3) 寄附金充当額

（観光の振興に関する事業）

656,500 円



12 秦野駅北口歩行者等交通量調査事業

(1) 事業目的

平成27年度から実施している社会資本総合整備計画事業（民間マンションの建替え支援、自転車駐車場の建替え、ペDESTリアンデッキの延伸等）の整備効果を検証するため、秦野駅北口周辺の歩行者等交通量調査を実施し、事後評価に関する基礎資料を作成することを目的とします。

(2) 事業概要

定量的な評価指標の一つである歩行者交通量を計測することで、事後評価シートの作成を円滑に行えました。

(3) 寄附金充当額

（秦野市のため）

2,160,000円



13 新市街地ゾーン都市計画策定支援事業

(1) 事業目的

新東名、246バイパスを最大活用したまちづくりに関する事業として、戸川地区における新たな産業系土地利用（新市街地ゾーン）の実現及び新東名秦野SAスマートICと中心市街地を結ぶ構想路線及び関連事業である水路（矢坪沢）の整備に向けた取り組みを進めています。

(2) 事業概要

スマートICに近接した戸川地区周辺の構想路線の都市計画決定に向けた検討を実施しました。

(3) 寄附金充当額

（秦野市のため）

1,706,800円



14 インター周辺整備事業

(1) 事業目的

新東名、246バイパスを最大活用したまちづくりに関する事業として、戸川地区における新たな産業系土地利用（新市街地ゾーン）の実現を図るため、土地区画整理事業による公共施設の整備、改善を行うとともに、地域環境と調和した産業系土地利用を目指し、産業や地域の活性化につなげます。

(2) 事業概要

市は、「産業利用促進ゾーン」において組合土地区画整理事業の施行を目指す、「秦野市戸川土地区画整理準備組合」に対する技術的な指導、助言などの支援を行っており、準備組合で検討中の土地利用計画及び事業計画（案）の策定にあたり、企業意向調査等により戸川地区への企業ニーズを把握するとともに、権利者の方々のご理解がいただける事業計画（案）となるよう取り組んでいるところです。

引き続き、円滑な土地区画整理組合の設立に向けて、関係権利者間の合意形成に努めるとともに、事業の実現に向けた検討を進めます。

(3) 寄附金充当額

（秦野市のために）

11,710,000円

